

■日時 平成23年8月17日(水) ■天候 晴れ
 ■球場 駒沢公園硬式野球場 第3試合 1回戦
 ■審判 球審:服部 塁審:福田 清水 松山

北海道苫小牧工業高校 対 岡山県立烏城高校
 ■試合時間 2時間38分 ■備考 延長10回
 延長戦はタイブレイク方式による

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	安	失
烏城	東中国・岡山	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	6	5	4
苫小牧工業	北海道	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	4	4	3

烏城		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	安	失
1	捕	高原 恭平	2	1	0	0	三振		三壘			捕飛		死球					
2	三	石川 友貴	4	1	0	0	投ゴ		遊ゴ			投ゴ			三振				
3	遊	田野口 凌	4	1	0	0	投ゴ			投ゴ			遊ゴ		三振				
4	投	大崎 光士郎	5	2	2	1		中安		左飛			中安		捕飛	一選			
5	一	高原 孝太	4	0	0	0		捕飛		投ゴ			捕飛		捕飛				
6	右	山崎 勇人	4	1	1	2		遊飛			投ゴ		遊飛			右安			
7	左	岡田 篤樹	2	0	0	0		遊ゴ			四球			三振	死球				
8	二	平野 裕己	4	0	1	0			左安		三振			捕飛	遊失				
9	中	福池 翔	3	0	1	0			三壘			右飛		右安	一飛				
合計			32	6	5	3	残塁:5 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
大崎 光士郎

捕手
高原 恭平

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
大崎 光士郎	10	36	4	20	2	0

■苫小牧工業

ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	安	失	
1	投	日浦 康裕	4	1	2	0	三ゴ		中安		三振			中2	四球				
2	二	奥田 礼	5	0	0	0	三振		三振		三振			三振	投ゴ				
3	三	釜田 基規	5	0	1	0	右飛		右飛			三安		投失	三振				
4	捕	江島 健太	4	0	0	0		三振		三振		三振		三振					
5	投	西條 勇太郎	3	0	1	0		二飛		左2		三振		死球					
6	遊	中谷 友亮	4	0	0	0		遊ゴ		三振		一ゴ		三振					
7	中	赤堀 拳輝	3	1	0	0			三振		三振			三振					
8	左	木村 拓哉	3	1	0	0			三振		遊失		三振						
9	右	原谷 亮祐	1	0	0	0			三振		投犠								
9	右	内山 義雄	1	1	0	0							三振						
合計			33	4	4	0	残塁:6 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
日浦 康裕

捕手
江島 健太

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
日浦 康裕	10	37	5	5	3	0

■戦評

大会第1日目、駒沢球場の第3試合、2年ぶり出場の苫小牧工業と昨年ベスト4の烏城との対戦は延長戦にもつれ込む好ゲームになった。先制したのは烏城。2回表この回先頭4番大崎が中前打で出塁し盗塁と牽制悪送球などで1点先取。烏城先発大崎に3回まで三人ずつに打ち取られていた苫小牧工業は4回裏この回先頭1番日浦が中前打で出塁。中堅手が打球の処理を誤る間に一気に二塁を奪い捕免とワイルドピッチで日浦が本塁を踏み同点に追いつく。5回以降は苫小牧工業先発日浦、烏城先発大崎ともに走者を出すものの要所を締め得点を与えない。1-1のまま迎えた9回裏苫小牧工業はこの回先頭1番日浦が中堅越二塁打を打ち敵失と死球で二死満塁とサヨナラのチャンスを迎えるも烏城エース大崎が後続を絶ち今大会初の延長戦に突入する。延長戦は節電対策から一死満塁で任意打者から始めるタイブレイク方式の特別ルールが採用され10回表烏城は4番大崎からの攻撃。大崎の一塁ゴロが野選となる間に三塁走者高原恭がホームイン。すると苫小牧工業ナインは緊張の糸が途切れたかのように三つの暴投と失策でさらに4点を献上し6-1と大きくリードを許す。10回裏苫小牧工業は1番日浦からの攻撃。ワイルドピッチと敵失などで3点を返し追いつくも追いつくことが出来ずゲームセット。6-4で烏城が2回戦に進出した。